

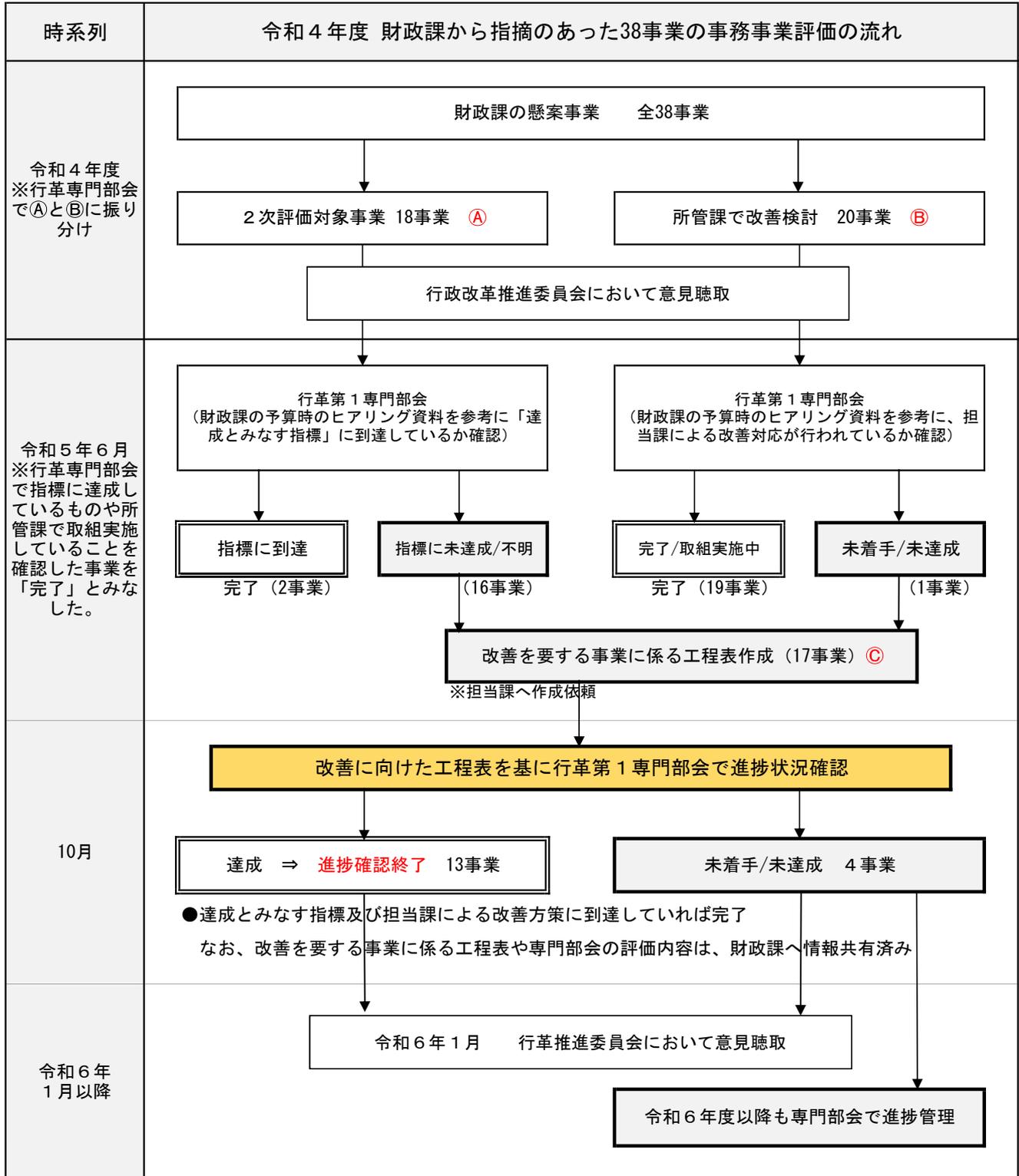
議題2 令和4年度からの事務事業評価対象事業進捗管理（17事業）

《これまでの流れ》

昨年度、懸案事業となっていた38事業のうち、2次評価対象として直接担当課とヒアリング18事業と担当課で改善に取り組んでもらう20事業に選別。

今年度は、これらの事業の進捗状況を第1専門部会で評価した。

評価の結果、38事業のうち17事業について担当課の取組状況が指標に未達成もしくは不明であったり、未着手となった事業であったため、担当課へ『改善を要する事業に係る工程表』を作成してもらうことにより、進捗を確認した。



※今後は10月の専門部会で評価した17事業のうち、4事業については未着手/未到達と判断し、令和6年度以降も進捗管理を実施する予定。

○令和4年度予算査定時における課題があるとされ、2次評価及び行革推進委員より意見聴取した18事業一覧

No	事業名	所 属	令和4年度予算査定時の指節項目 (R4.2~3月)	所管課の改善方針 (今後の取組内容) (R4.5月)	2次評価意見 (R4.10~11月)	評価結果	達成とみなす指標 (2次評価時に設定) (R4.10~11月に設定)	行革推進委員意見 (R5.3月)	令和4年度予算 (千円)	令和5年度予算 (千円)①	令和6年度予算 (千円)②	増減額 (千円) ②-①	令和5年度予算対応(改善)状況 (R4.11~12年度定期財政レビューによる ヒアリング確認事項)	改善を要する工程表を不要とする理由 (所管課で取組推進) (専門部会による検討、R5.6)	維持継続の要否 (専門部会等) (R5.6)
1	文書管理費	総務課	①帳簿書類の代読保管先の検討 ②公文書デジタル化、電子決裁の導入検討	①修繕方法につき関係課と協議、代読先の 検討 ②先進地の取組を調査研究	帳簿書類の保存文書等につき電子化に向けた 手順やスケジュールを示す。	調査継続	新たに保存する文書の電子化の手 順や保存方法の指針を策定し、全 庁に示す。	・一日も早く文書のデータ化を進めて欲 しい。 ・膨大なデータの蓄積のみならず、検索 できるように進めて欲しい。 ・USBメモリの紛失が無いよう管理をどう するか考えるべき。	5,583	6,103	8,448	2,345	電子化は必須と考えているが、委託だと多額と なることから、会計年度任用職員とスキャナー のリースにより、順次実施することも検討して いること	-	○
2	基金運用	会計課	債券などによる基金運用の検討	公共債に関する定期的な情報収集 基金の長期運用可能性の検討	長期的な基金運用を行った場合の運用収入 と利息負担の比較検討が必要	調査継続	財政課や企画課と基金の将来的な 運用につき協議し、長期運用が可 能な金額を精査する。	安定した企業の債券でない手を出しづ らいという理解であるが、なんとかが 運用を検討して欲しい。	-	-	-	-	ふるさと納税により基金全体額が増加してい るという理解であるが、なんとかが 運用を検討して欲しい。	-	○
3	社会福祉関係団体体 成事業費	福祉課	事業費補助の積算根拠を明確化すること (社会福祉協議会への事業費補助)	次年度予算編成に向け協議と協議を検討	協議へ補助する所管課が連携し全体像を把握 する	収支改善	事業費の積算根拠を明確にし支出 方法を見直し予算作成する	協議の留意事項であれば補助金の考え方 により、本市の考え方の姿勢を進めて欲 しい。	46,232	47,143	53,362	6,219	R5年度予算で整理つかず、R5年度上期のまで に正規職員・非常勤職員の人件費について整理 を行う。また、事業費補助の考え方についても整 理が必要。	-	○
4	地域福祉事業費	介護福祉課	事業費補助の積算根拠を明確化すること (社会福祉協議会への事業費補助)	次年度予算編成に向け協議と協議を検討	協議へ補助する所管課が連携し全体像を把握 する	収支改善	事業費の積算根拠を明確にし支出 方法を見直し予算作成する	特になし	32,645	37,670	37,458	△ 212	R5年度予算で整理つかず、R5年度上期のまで に正規職員・非常勤職員の人件費について整理 を行う。また、事業費補助の考え方についても整 理が必要。	-	○
5	介護保険施設等高齢 者対策推進事業費	介護福祉課	施設入所の高齢者への補助、自治活動交付 金の整合性検討	自治活動交付金の見直し結果を踏まえて検 討	在宅者の転居事業と施設補助金は同様の制度 設計のため同調すべき	調査継続	自治活動交付金の検討結果に合わ せる	特になし	474	467	469	2	生活環境課の自治活動交付金の検討結果に合わ せるというところで方向性が決定しているため、 今後は生活環境課と連携をもう	生活環境課の自治活動交付金の検討結果に合わ せるというところで方向性が決定しているため、 今後は生活環境課と連携をもう	×
6	老人憩の家運営事業 費	介護福祉課	高齢者施設の統廃合の検討	公共施設等総合管理計画において、高齢者 施設の統廃合の方向性が示されており、周辺 施設への機能移転等の可能性を検討。修 繕についても抑制的に実施。	所管課で統廃合の年次計画や継続の方向性 を管財契約課と連携し進行管理する	規模縮小	部の家と会館では役割も異なることか ら、効化の観点のみで施設を統合す るは無理があるのではないか。(憩の家 の利用者も多い)	37,245	36,536	36,762	226	公共施設管理計画で統廃合検討とされている施設 について、管財契約課や近隣施設所管課との 協議も踏まえて検討が必要	-	○	
7	高齢者健康増進事業 費	介護福祉課	事業費増加のため、真に健康増進につな がる運用の検討	利用範囲の拡大を図るためのポータルア プリとの連携等の新たな方法を模索	外出機会の確保が事業目的であるため、タ クシー利用は適当	調査継続	今後実施するアンケート結果を分 析し、使途等検証する	特になし	13,491	13,254	15,642	2,388	R4年度の健康増進施設利用費の実績を確認 その上で事業スキームを再度検討	-	○
8	重症心身障がい児 者施設外支援サービ ス事業費	障がい福祉課	タクシーチケットでの助成の仕方に変更	介助に係る負担が大きい社会資源(移送 サービス事業者等)が不足しており対応 できる事業者が少ない。 今後も現行通り事業を実施。	重症の障がい者を移送する事業者が不足 する現状において、タクシーチケットでの対 応は困難	調査継続	比較検討可能な代替案を調査し、 対応可能な事業者があれば比較 検証する	特になし	3,246	1,951	1,916	△ 39	障がい者の利用率が、高齢者に比べて低いこと からR5年度予算から介護福祉課の地域福祉事 業費と事業費を折半。事業規模に変更はなし。 自己負担は、500円/回/回	-	○
9	高校プール開放運営 費	健康スポーツ課	市民プール(恵庭南高校プール)としての あり方検討	千歳市温水プールに活用に係る両市による 協議の促進。恵庭南高校プールの利用促 進。	プール利用者の実態とニーズを把握し、事 業継続の可否判断や効率的な実施方法を速 やかに検討する	調査継続	事業継続の可否判断	単純にコストパフォーマンスだけで存続 の可否を決めることが無いように欲 しい。	278	297	269	△ 28	R4は開設を行ったが、コロナ前以上に利用 者数が半減(R1:300名→R4:130名) 他のプール事業や千歳市との連携など、学 校プール、市民プールの今後のあり方について検 討	-	○
10	スポーツ施設管理費 (パークゴルフ場)	健康スポーツ課	パークゴルフ場の ①料金負担の導入 ②無料と有料施設によって維持管理費の差 別化検討	①料金負担の方向性について検討 ②次期指定管理者の公募時に新たな提案案 を募集	有料化に必要な経費の積算など比較検討に 必要な情報を整え、スポーツ振興まちづく り審議会での方向性をまとめる	調査継続	有料化の可否判断	有料コースと無料コースのすみ分けは必 要。市民が楽しむ場所として無料開放 の意義があってもいいのではないか。無 料であっても快適に利用できる環境で あって欲しい。	149,368	149,953	165,588	15,633	集約化等も含め、有料施設としての運用可否は 継続検討	-	○
11	スケート場維持管理 費	健康スポーツ課	①市民スケート場の夏場の利用、収入増 の学校スケートリンクと市民スケート場の 統合	①施設有料化に向けた課題の整理 ②スケート場利用に関するアンケート調査 の実施	夏場の利用につき、令和5年度中にサウン ディング調査による利用度調査を行い、審 議会での方向性をまとめる	調査継続	サウンディング調査等による夏場 利用の可能性調査の実施	特になし	18,318	20,977	21,968	999	R4年度中に市民・島松スケート場の集約につ いてアンケート調査を実施。可否について検 討したため結果を踏まえて検討を要する。夏場 はサウンディングの結果を踏まえて今後の検討を 実施	-	○
12	勤労者関係費	商工労働課	補助算出の根拠(シルバー人材センター 運営費及び事業費)	シルバー人材センターより提出される事業 計画に基づき補助額を決定。予算の範囲 内で支出することを協議。	剰余金の積立ルール・使い道を明確にした ほうが良い。	収支改善	補助金交付額についてルールを設 け文書化する。 剰余金の取扱いルールを明確に し、市で把握する。	特になし	14,129	19,304	11,534	△ 7,770	介護科会の配付サービス事業(社会福祉協議 会への補助)の補助金を整理する。R5予算 は増。R6からの補助金の方向性について理事 者の考えを示された。	-	○
13	就職促進事業費	商工労働課	事業手法内容の見直し	市内企業への就労につながるような方法を 検討	所管課として企業側へ積極的に関わるべ き。他市での同様な事業につき調査が必要	調査継続	所管課が積極的に関わり、実績報 告やアンケート調査結果内容を踏 まえ、参加企業を増やす工夫を図 る。	特になし	3,758	3,758	3,758	0	企業情報発信、合同企業説明会、企業向けセミ ナーの3つの柱が柱から変更がない。財源は R6までデジタル庁閣内国家情報交付金が延 長。	-	○
14	台湾経済交流推進事 業費	商工労働課	効果的な事業検討、効果検証	コロナの状況と、日本・台湾相互の訪問 の可能性を検討しながら今後の事業の進め の検討。	現在の事業について、関係部局との協議は 必要。継続していく部分や縮小する部分 と検討した上で事業再編を考慮してもよい。	調査継続	軸となる3事業(訪日教育旅行、 同協会及び博物館、ENIWAVE-サ イト運動)のあり方につき、今後 の方針を決定及び効果検証する。	特になし	5,089	4,089	0	△ 4,089	教育旅行に重点を置いて事業を継続。華僑招聘 をとりやめたことにより△110万円。	-	○
15	観光推進事業費	花と緑観光課	観光協会の事業内容の見直し、効果検証	観光協会の事業内容は、センターハウス内 での通常の観光案内業務であり、非常に明 確。そのまま継続。	運営でなく委託事業として実施するメリッ ドや効果について明確にする必要がある。	調査継続	・所管課によるアンケート調査 ・効果検証手法について行革推進 委員会の意見をフィードバック し、事業に反映するよう努める。	現在はHPやSNSによる情報発信が主流と なっているため、観光案内所運営課に大 胆な事業費をかけたままでは改善が必 要。観光団体として活動することにも多 いので、そちらの方に舵をきる投資を 考えて欲しい。	12,505	12,505	12,505	0	R4と予算同額。	-	○
16	ルルマップ自然公園 ふれんど管理事業費	花と緑観光課	パークゴルフ場の新たな活用の検討	若年層の利用者が少ないため今後さらに指 定管理料が増大していくと考えられるた め、別の用途に転用することが望ましい。	用途変更のみならず、利用者を増やす方 で考え、PRに注力することも必要ではない か。	収支改善	施設のあり方検討会において、次 期指定管理者検討時期までに今後の 方向性を明確にする。	設備が充実したキャンプ場にして欲 しい。(キャンプファイヤーを楽しむ施設 等)	13,076	14,057	12,420	△ 1,637	現在検討委員会に進めている	施設のあり方検討会から提言書が提出されたた め、今後は所管課で取組でもらう。	×
17	青少年宿泊研修施設 運営事業費	社会教育課	市外利用条件の見直し	相手方と協議を行ったが、変更は難し いと判断。市外利用条件の見直しに限 らず、歳入確保のための取り組みを実施し ていくこととした。	市外利用者要件の見直し協議を次年度の改 正に間に合うよう協議を進めるべき。	収支改善	年度内に市外利用者要件の緩和につ き、懇談会(株)と協議を終え、 取組要領の改正を行う。	施設の利用促進のため、利用要件の変更 (緩和)については学校などへの啓発や 回覧板を活用した市民周知をはかるべ き。	14,861	14,861	14,861	0	宿泊施設の市外利用条件のルール厳格につ いて、R4中に協議実施。R6から協議して もよいとの内訳あり。R5年度中にルール改正 し、R6から反映する予定。	-	○
18	墓園管理費	市民課	①墓園の必要面積の精査、②未利用地の利 活用	需要把握と適切な墓園面積の精査の実施。 未利用地については墓園以外の活用に しても視野に入れ検討。	未利用地の活用については検討済み。必要 面積の精査については今後使用できる墓 園状況を検討後、市民に示すことが必要。	調査継続	市民への墓園使用のニーズ調査を 経て必要面積の精査を行い、整備 計画等で方針を固める。	利活用として、お参り後、ひと休みでき るような場所があると良い。永代供養し ていく人口は将来的に減っていくと思 うので、期間付きにするなど新たな時代の ニーズへの対応を考えて欲しい。	32,571	32,451	32,121	△ 330	新たな造成は不要としながらも、第4墓園の申 請が伸びていないことから、需要が多い同 様の造成や使用料見直しが必要と所管課へ伝 えている。 未利用地の活用については、雪害軽減として の活用のみならず、夏場も含めた検討が必要	-	○
合計(千円)									402,869	415,376	429,081	13,705			

【注釈】令和6年度予算(見込み)額は、昨年12月22日現在の予算査定時の額。今後、変動する可能性がある。





○令和4年度予算査定時における課題があるとされた項目一覧表(所管課で改善に取り組む20事業)

No	事業名	所属	4年度予算査定時の指摘項目 (R4.2~3月)	所管課の改善方針 (今後の取組内容) (R4.5月)	所管課において改善を行う理由 (2次評価を実施しない) (R4.8月)	4年度予算 (千円)	5年度予算 (千円) ①	6年度予算 (見込み) (千円) ②	増減額 (千円) ②-①	5年度予算対応(改善)状況 ※査定ヒア中で聴き取りした内容 (財政課によるコメント) (R4.11~12月)	専門部会による検討 (R5.6)	進捗確認の要否 (専門部会判断) (R5.6)
1	一般事務費 (総務課)	情報政策課	①RPA等導入の際の公営企業の費用負担検討 ②全庁的な電子申請の推進	①費用負担を求める ②実施計画の推進体制に基づき推進	電子申請の推進は、全庁的にわたる取組。 業務手法を見直しながら行政DX担当を中心に強力に進めたほうが効果的。	6,534	8,366	7,824	△ 542	①RPAについてシナリオ拡大が政策で不可となったことから今後の拡大状況に応じて検討。 ②HARP活用を推進するが、国の標準化によって違うシステムを活用することもあり得る	シナリオ増加による予算の増。 デジタル活用による必要経費と判断する。 今後も引続きDX実施計画に基づき実施してもらおう。	×
2	車両管理費	管財契約課	①車両調達の際の安価な中古車の検討 ②公用車の一元管理 ③公用車の廃止に際し、ネット売却の検討	①所管課の配属車は実績あり ②予約システムを活用することは可能 ③昨年度オークション実施済み 廃車時にはネットオークション利用を検討	今後の改善方針について、所管課において整理済み。所管課が中心となって検討していくほうが早急に対応できることが期待できる。	8,770	7,604	7,868	264	R5年度よりEVをリースで一台導入	脱炭素社会にむけたカーボンニュートラルに基づく電気自動車の導入。 今後も引続き所管課において対応していただく。	×
3	賦課事務費	税務課	電子化導入による会計年度職員の削減	電子化導入による影響は、正職員担当の業務効率化による時間外勤務の削減。現時点では会計年度の人工削減効果は限定的。税務LANの稼働が安定した段階で改めて検討。	所管課において改善方針を整理していることから、内部業務の見直しも併せて検討しながら所管課が中心となって検討していくほうが早急に対応できることが期待できる。	15,177	14,962	16,916	1,954	RPA、AI-OCR導入による人件費削減は、正職員の時間外削減による効果が大きく、さらなる削減は難しい。 税務LAN及び確定申告予約システム活用により、申告事務の会計年度削減はR5年度中に検討	所管課で改善検討を継続。 ※安易な人件費削減はしない	×
4	徴収事務費	債権管理課	RPAによる会計年度職員の削減	徴収担当の会計年度職員が現状で1人であり、RPAによる人工の見直しは現状難しい。収納管理業務のRPA活用などによりR5以降検討。	収納管理や窓口担当の会計年度職員業務のDX化と含ませて人工の検討をしていくべき課題。所管課が中心で対応するべき。	18,371	18,152	17,677	△ 475	現状ではこれ以上の削減は困難。今後の状況に応じて再度検討	所管課で改善検討を継続。 ※安易な人件費削減はしない	×
5	敬老祝品贈呈事業費	介護福祉課	対象年齢を限定し、事業費の上限設定の検討	R5年度は今年度の単価を上限に事業継続予定。R6年度以降、対象年齢の引き上げや対象年齢の限定を検討したい。	更なる支給対象年齢の引き上げ等により事業費を抑えられるよう所管課が検討するのであれば、行革メニューとはしない。	2,974	3,176	387	△ 2,789	R6年度予算にて対象年齢の引上げや単価引下げで検討していく。現在の事業規模内で実施できるように考えていく。	所管課で改善検討を継続。	×
6	学童クラブ運営費	子ども政策課	デジタル化活用による連絡帳の廃止	令和4年度インセンティブ予算に申請中であり、所管課において改善の方策をはかる	保護者との連絡手段におけるアプリの導入。デジタル通信環境整備を所管課において検討していることから、行革メニューとしては取り上げない。	225,478	252,618	266,033	13,415	インセンティブ予算を活用し、R4中に整備。R5から実施。	令和4年度中に整備済み	×
7	夜間・休日急病診療事業費	保健課	千歳市との広域連携及び病院への委託検討	千歳市との連携事業や運営委託について、引き続き検討	サービスの低下を招かないよう所管課が積極的に千歳市との連携や運営委託を引き続き検討していくほうが効果的と考える。	75,812	74,244	74,079	△ 165	千歳市との連携について継続検討。 別途恵み野病院が公的医療機関となったことから、こちらに機能を持ってもらうことも今後検討	所管課で改善検討を継続。	×
8	エネルギー対策事業費	脱炭素推進課	企業が主体的にカーボンニュートラルへ取り組む効果的な事業の検討	第3次家庭環境基本計画との整合を図りながら検討。中小企業等に対する排出量算出支援とデータ収集を通じた調査研究の実施。	今後の改善方針について、所管課において整理していることから、所管課が検討していくほうが早急に対応できることが期待できる。	5,146	12,018	11,341	△ 677	ゼロカーボン宣言を踏まえた事業を実施。	カーボンニュートラルへの取組事業に取組むことが示されているため完了。	×
9	スポーツ振興基金運用事業費	健康スポーツ課	助成金の重複交付を避けるための補助要綱の見直し (中体連助成金と全国大会等派遣補助金)	教育総務課と、精査・検証を行いながら、補助金の申請・交付業務の一本化を行うための仕組づくりを構築し、あわせて補助要綱見直し。	制度の目的を詳しく理解している所管課が検討していくほうが早急に対応できることが期待できるため、行革メニューとしては取り上げない。	2,800	2,800	3,600	800	要綱の見直しは未達、継続して教育総務課と協議して検討。	所管課の改善方針の実施内容が未達のため、今後の取組スケジュールを確認するため工程表を作成してもらい専門部会において進捗管理を行う。	○
10	市民スキー場維持管理費	健康スポーツ課	①夏場の利活用や通年運営の指定管理者制度の検討 ②リフト券の印刷コストの削減	①夏場の運営方法等を含めた活用策の検討 ②複数年にわたり使用可能な運用を図る	夏場の活用策を含め、盤尻地区全体について、有識者会議において検討することとなっているため行革メニューにしない。	13,018	13,145	13,038	△ 107	①専門部会意見の通り ②対応済み	所管課の審議会で検討継続。	×
11	ごみ処理場運営管理(最終処分)費	廃棄物管理課	①清掃事業全体の費用見直し ②広域による連携(リサイクルセンターなど)	①令和2年度から3年度にかけ人工の見直し実施により経費を圧縮。 ②就労継続支援A型作業所へ移行調整の実施	今後においても所管課において安定的な清掃業務費用を引き続き検討することの方が効果的と考える。	170,785	164,565	182,643	18,078	家庭用ごみ袋製造・保管・販売の見直しについては、既にも実施している 所管課において、今後も再考可能なこともあると認識しており、改善を進めていることから、改めて改善を求めることは不要	令和5年度予算策定時において改善済み	×

No.	事業名	所属	4年度予算査定時の指摘項目 (R4.2～3月)	所管課の改善方策 (今後の取組内容) (R4.5月)	所管課において改善を行う理由 (2次評価を実施しない) (R4.8月)	4年度予算 (千円)	5年度予算 (千円) ①	6年度予算 (見込み) (千円) ②	増減額 (千円) ②-①	5年度予算対応(改善)状況 ※査定ヒア中で聴き取りした内容 (財政課によるコメント) (R4.11～12月)	専門部会による検討 (R5.6)	進捗確認の要否 (専門部会判断) (R5.6)
12	施設周辺地域対策整備費	廃棄物管理課	①個別排水処理助成金の施設更新時の対応 ②下水道使用料助成金の新規移住者の対応 ③農業用廃プラ助成金のリサイクル料金の適用	①1家屋につき1回、既に交付済みは対象外 ②新規居住者は対象外 ③農プラの処理には排ガス濃度の影響あり、リサイクルの推進	今後、所管部において地域と協議を行いながら、次期総合計画期間の始期までに、処分方法の検討を行うことが効果的と判断する。	9,802	9,543	9,664	121	専門部会意見のとおりとする	所管課において今後も対応する。	×
13	市営牧場管理事業費	農政課	市営牧場の今後のあり方、千歳市との広域化	他市の市営牧場の運営方法など情報収集を行い、畜産振興のため事業を継続	安定的な収入確保のため牧場使用料も近年見直し実施。改善方策を承認している所管課が中心となって検討していくほうが課題に対して早急に対応できることが期待できる。	18,091	18,421	18,704	283	当面現状どりの予定	所管課において今後も対応する。	×
14	中小企業振興対策事業費	商工労働課	駅まちプラザ委託料の減額検討	令和4年度の委託料については、リニューアルによる委託内容の見直しに伴い減額。次年度予算要求時期までに委託料の金額について引き続き関係機関と協議。	次年度において更に減額することも難しいと考える。引き続き所管課において関係機関と協議していただきたい。	71,977	64,198	67,274	3,076	駅まちプラザ委託料は所管課で整理をしたことでR4予算比で半減した。	所管課において今後も対応する。	×
15	建築指導費	まちづくり推進課	新たな耐震化施策の検討	住生活基本計画を策定中。同計画のなかで除却(解体)補助金を含む新たな支援制度の検討を行う。	計画策定においては、所管課における審議会を活用し、専門的見識のある委員の意見を聴取しながら進めることとしているため、行革メニューとしない。	4,468	3,777	5,876	2,099	R5予算において、耐震化に限らない住宅施策を検討する。	所管課の審議会で検討継続。	×
16	消火栓更新整備事業費	消防本部	水道管更新と消火栓更新のタイミングを合わせる	上水道課と調整のうえ令和4年度から令和7年度までの水道工事計画を策定。今後も連携を取りながら更新のタイミングや長期計画の見直しを図る。	令和2年度まで行革メニューにあがっていた案件。所管課において課題を認識しており、改善向け取組んでいる途上のため、行革メニューにしない。	9,032	12,571	11,066	△1,505	年度当初、水道管路工事施工期間・予算要求前の時期に水道・消防救助課で打ち合わせを実施。水道工事と合わせた消火栓選定を行っている。管路耐震化工事だけではなく老朽管路更新工事にも抱き合わせることで経費節減を図るとのこと。R11まで更新対象消火栓の選定が出来ており、今後も管路更新工事の状況を踏まえ計画見直しを続けるとのこと。見直し対象としない。	所管課において今後も対応する。	×
17	学力・体力向上推進事業費	教育総務課	外国語外部人材の必要性と役割、今後の方針	地域人材の活用は、本来の目的はALTの役割の一部補完。引き続き、恵庭市学力・体力向上推進会議において、必要性の検証を行う。	所管課の推進会議で検討することが効果的と判断するため、行革メニューとして取り上げない。	10,808	10,762	12,567	1,805	推進会議では必要とされた。継続した要求。	所管課の推進会議で必要と判断済みのため、完了。	×
18	スケートリンク造成・管理事業費	教育総務課	①一社随契の再検討 ②他事業者の参入しやすい仕組みの検討	①引き続き入札により受託業者選定 ②人手不足により市内業者で対応可能な業者は1社、市外も余力がない状態	今後の冬のスポーツ授業のあり方も含めて、所管課における専門的見地をもった委員会を活用して検討するほうが効果的。	5,463	5,885	6,274	389	なし	所管課において今後も対応する。	×
19	基金活用事業費	社会教育課	市民文化祭の参加料等の有料化	有料化(会場使用料)について、今年度の実行委員会において審議する	今年度の実行委員会において会場使用料の有料化を検討することになっていることから、引き続き所管課において検討してもらう。	2,703	2,952	2,855	△97	協議を実施したことにより実行委員会からは徴収することに内諾を得ている。総会で決定し、R6から反映することができそう。	令和5年2月に開催した公民館審議会において、本件につき合意が得られたため、令和5年度から料金改定済み。	×
20	学習振興費	社会教育課	市民講座の受講料の見直し	今後、近隣市の状況などを把握し、受講料及び講師謝礼の料金改定を行う。	今年度中に受講料及び講師謝礼の料金改定を検討し、次年度以降改定できるよう進めていけるよう、所管課において早急に取組むことが効果的と思われる。	4,305	4,373	4,089	△284	市民講座の受講料改定した予算となった。	令和4年度に対処済み	×
合 計						681,514	704,132	739,775	35,643			

【注釈】6年度予算(見込み)額は、昨年12月22日現在の予算査定時の額。今後、変動する可能性あり。



○改善を要する工程表を作成依頼した17事業および専門部会において今後進捗管理する事業一覧

No.	事業名	所属	令和4年度予算 (千円)	令和5年度予算 (千円) ①	令和6年度予算 見込み(千円) ②	増減額 (千円) ②-①	到達とみなす指標 (R4.10~11設定)	改善に向けた工程表を基に行った進捗確認評価結果 専門部会意見・結果理由(R5.10)	次年度 進捗管理 必要性
1	文書管理費	総務課	5,583	6,103	8,448	2,345	新たに保存する文書の電子化の手順や保存方法の指針を策定。全庁に示す。	永年保存文書の電子化について検討の結果、費用対効果の点から永年文書の電子化を見送ることとした。桜町書庫の代替としては、他の公共施設へ永年文書を一時的に移動する予定。方針変更に伴い、桜町書庫の代替施設の検討は進んでいるため、担当課による取組は行っていると判断し、到達とみなす。また、文書の電子化については、デジタル化推進計画に基づきながら、システムの標準化・共通化の時期に併せて進めること。	無
2	基金運用	会計課	-	-	-	-	財政課や企画課と基金の将来的な運用につき協議し、長期運用が可能な金額を精査する。	今年度中に債券活用ルール策定予定。素案により関係部署（財政課・企画課）と協議を実施し、長期運用が可能な金額の精査を行い、債券購入する方向で検討していることを確認したため、取組到達とみなす。	無
3	社会福祉関係団体育成事業費	福祉課	46,232	47,143	53,362	6,219	事業費の積算根拠を明確にし支出方法を見直し予算作成する。	令和6年度予算策定時までに、社協との協議を行い、支出方法を見直し予算策定することとしているため、取組到達とみなす。	無
4	地域福祉事業費	介護福祉課	32,645	37,670	37,458	△ 212	事業費の積算根拠を明確にし支出方法を見直し予算作成する。	令和6年度予算策定時までに、社協との協議を行い、支出方法を見直し予算策定することとしているため、取組到達とみなす。	無
5	老人憩の家運営事業費	介護福祉課	37,245	36,536	36,762	226	管財契約課と連携し、所管課の検討結果について公共施設等総合管理計画の中で整理し方向性を定める。	老人憩の家の統合に向けた検討を担当課で実施中。今後は、公共施設等総合管理計画に搭載を予定し、関係課と連携しながら進めていくこととしているため、取組到達とみなす。	無
6	高齢者健康増進事業費	介護福祉課	13,491	13,254	15,642	2,388	今後実施するアンケート結果を分析し、使途等検証する。	敬老祝金の対象者見直し（77歳を廃止）に伴い、健康増進事業の見直しを行うこととなった。今後は、担当課においてアンケート調査結果を分析し、検討を進めていくこととなっているため、取組到達とみなす。	無
7	重度心身障がい児者通院外出支援サービス事業費	障がい福祉課	3,246	1,951	1,916	△ 35	比較検討可能な代替案を調査し、対応可能な事業者があれば比較検証する。	対応可能な事業者があるかどうか現在も調査を続けているため、指標について取組は達成していると判断。医療的ケアが必要であったり、言葉による意思疎通が困難であるなど、介助に係る負担が大きい方の移送サービスの為、代替事業所を探すことは難しい事情はあるが、引き続き比較検討をしてもらうこととし、取組到達とみなす。	無
8	高校プール開放運営費	健康スポーツ課	278	297	269	△ 28	事業継続の可否判断。	市民の健康増進及びコストパフォーマンスの観点から、本事業の継続は必要であると担当課で判断。今後は、利用増進のため、市民周知を進めることとしていることから、取組到達とみなす。	無
9	スポーツ施設管理費（パークゴルフ場）	健康スポーツ課	149,368	149,953	165,588	15,635	有料化の可否判断。	近隣市町村の状況を調査し、情報収集しているところ。現在、市内のパークゴルフ場の規模縮小や民間のパークゴルフ場の閉鎖などの動きが出てきていることから、有料化の可否の方向性については今のところ未定。取組到達となる時期や方向性が見えてくるまで、専門部会において進捗確認を行う。	有
10	スケート場維持管理費	健康スポーツ課	18,318	20,977	21,968	991	サウンディング調査等による夏季利用の可能性調査の実施。	今年度は市民スケート場のサウンディング調査の実施予定なし。サウンディング調査を実施するか否かも含め、方向性が明確になるまでは、専門部会において進捗確認を行う。	有
11	勤労者関係費	商工労働課	14,129	19,304	11,534	△ 7,770	補助金交付額についてルールを設け文書化する。剰余金の取扱いルールを明確にし、市で把握する。	シルバー人材センターと協議を重ね、補助金交付要綱を新規で作成予定。また、今後、双方において覚書を締結し、シルバーの経営状況及び近隣自治体の状況を踏まえた補助金額となるよう進めているため、取組到達とみなす。	無
12	就職促進事業費	商工労働課	3,758	3,758	3,758	0	所管課が積極的に関わり、実績報告やアンケート調査結果内容を踏まえ、参加企業を増やす工夫を図る。	情報発信方法を変更し、対象者を高校生から若年層に拡大したり、合同企業説明会の募集枠を増加させる取組を行うなど、マッチング数の増加に向けた取組を行っている。今後も担当課において、事後調査を実施し改善に向けて検討していくこととしているため、取組到達とみなす。	無
13	台湾経済交流推進事業費	商工労働課	5,089	4,089	0	△ 4,089	軸となる3事業（訪日教育旅行、商談会及び単僱招聘、ENIWAIEYサイト運営）のあり方につき、今後の方針を決定及び効果検証する。	今後の方針について6月に決定済み（訪日教育旅行の受入れを中心に事業展開）としているが、これまでの事業の効果検証が必要。今後の台湾事業の検証結果と今後の方向性について、今後も専門部会において進捗確認を行う。	有
14	観光推進事業費	花と緑観光課	12,505	12,505	12,505	0	所管課によるアンケート調査の実施。効果検証手法について行革推進委員会の意見をフィードバックし、事業に反映するよう努める。	今年度は、観光協会への来客数（窓口対応、電話対応等）の件数を把握し、委託費に見合った状況となっているが、現状把握することとしている。また、推進委員会の意見を受け、まずは担当課においてDMOについて調査研究を継続していくこととしている。また、観光協会の主催事業を増やすことにより、委託事業の身がわかりやすいように令和6年度予算のあり方を見直す予定。利用者アンケートは今年度未実施。観光協会の効果について見える形になっていないため、担当課の取組状況を次年度以降も確認することが必要と判断し、進捗管理を継続する。	有
15	青少年宿泊研修施設管理運営費	社会教育課	14,861	14,861	14,861	0	年度内に市外利用要件の緩和につき、恵庭RBP（株）と協議を終え、取扱要領の改正を行う。	昨年度中に恵庭RBP（株）と協議を進め、取扱要領の改正を行った。今後も引き続き施設利用に関するPRを実施し、更なる利用者拡大をはかることとしていることから、取組到達とみなす。	無
16	墓園管理費	市民課	32,571	32,451	32,121	△ 330	市民への墓園使用のニーズ調査を経て必要面積の精査を行い、整備計画等で方針を固める。	3月に実施したアンケート調査結果を踏まえて、今後の墓所需要を勘案したところ、新たな墓所整備は行わない方針を決定し、6月の常任委員会において報告済み。そのため、取組到達とみなす。	無
17	スポーツ振興基金運用事業費	健康スポーツ課	2,800	2,800	3,600	800	教育総務課と、精査・検証を行い補助金の真正・公布業務の本化を行うための仕組みを構築。併せて補助要綱見直し。	担当課において、今年度中に中体連の助成を行う教育総務課と協議をして、補助要綱を見直すこととしている。そのため、取組到達とみなす。	無
合計			392,119	403,652	419,792	16,140			

【注釈】令和6年度予算見込み額は、昨年12月22日現在の予算査定時の額。今後、変動する可能性あり。

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調査)

事務事業名	文書管理費	担当部課名	総務部総務課	
		作成者名	岡田 圭祐	
令和4年度予算時における指摘事項	<p>【現状と課題】 桜町書庫の老朽化により雨漏りなどが発生している。現時点で公文書保管には影響がないものの、今後大規模な修繕を必要になると思われる。 ※令和4年度政策予算で所管課から修繕の要望あったが先送りとなった。</p> <p>【改善ポイント】 桜町書庫の大規模改修前に、代替の保管先や文書のデータ化、電子決裁の導入等について検討。</p>			
令和4年度事務事業評価結果	専門部会による2次評価結果(令和4年10～11月実施)			
	<input type="checkbox"/> 収支改善 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 調査継続 <input type="checkbox"/> 事業廃止			
	<p>【専門部会意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在桜町書庫に保存されている保存文書のみならず、今後新たに保存される文書についての電子化の手順やスケジュールなど、総務課で職員向けに説明会の実施やガイダンスなどの方向性が示すことが必要。 ・現在桜町書庫に保存している文書(永年保存)についても、電子化する際に改めて見直すことも考える必要があるのではないか。 ・永年保存文書の見直しについても、所管に任せきりではそのまま永年保存とされることが想定されるため、総務課で基準を示すべきと考える。 ・DX推進計画に盛り込み、電子化を進める方針のようだが、実際に取り組む年次が現在は定まっていない。計画的に実施できるような課・部としての意識が必要。 			
	<p>【取組到達とみなす指標】</p> <p>桜町書庫の保存文書のみならず、今後新たに保存する文書について、総務課が中心となり、電子化に向けた保存文書の見直し指針(ガイドライン)を策定することにより、電子化の手順や保存方法の基準を全庁に示す。</p>			
	行革推進委員会による外部評価意見(令和5年3月実施)			
<ul style="list-style-type: none"> ・文書のデータ化を、一日も早く進めて欲しい。 ・デジタル化を進める上で、膨大なデータの蓄積のみならず、検索できるよう進めて欲しい。 ・USBメモリを紛失することがないように、データの管理をどのようにしていくか考えるべき。 				

■改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

進捗状況/今後の取組	<p>【進捗状況】永年保存文書の電子化について、専門業者に現状を確認してもらい、意見交換を行った。</p> <p>【今後の取組】永年文書の電子化について、専門業者から概算見積・改善提案をいただき、恵庭市としての課題を整理し、今後の方向性を定める。検討の結果、費用対効果の点から永年文書の電子化を見送ることとする。代替手法として旧東恵庭憩の家や小中学校の管理者住宅へ永年文書を一時的に移動する。また、電子文書管理システム導入により、保存文書が電子化され、市役所地下書庫に空きができることから、最終的には永年文書を市役所地下書庫へ集約し保管する。電子文書管理システム(電子決裁)の導入についても、先進地視察を行い、令和7年度の導入を目指して取り組みを進める。</p>
改善することによる財政効果	永年保存文書の電子化を行い、公文書の廃棄が進むことにより、桜町書庫等空きスペースの有効活用が見込まれる。電子文書管理システム(電子決裁)を導入することにより、業務の効率化、コピー用紙の削減、ファイリング物品の削減等が見込まれる。
調整上の課題	永年保存文書を電子化する手法の検討。 電子文書管理システムに係る仕様の作成、庁内各部との調整等。

■改善・見直し工程表(所管課記載)

取組内容	今後の改善に向けたスケジュール					
	令和5年度(予定)		令和6年度(予定)		令和7年度(予定)	
	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月
永年保存文書の電子化	政策的経費要求(実施の可否検討)	永年保存文書の整理・再精査	保存文書量調査	移設作業・防犯補修工事費用積算、設計	移設作業・防犯補修工事実施	移設作業・防犯補修工事実施



■令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無



有 ・ (無)

進捗確認 評価結果 (専門部会 意見)	担当課において、永年保存文書の電子化について検討の結果、費用対効果の点から永年文書の電子化を見送ることとした。桜町書庫の代替としては、他の公共施設へ永年文書を一時的に移動する予定となっている。市としての方針変更に伴い、取組内容が変更したことにより、桜町書庫の代替施設の検討は進んでいるため、担当課による取組は行っていると判断し、到達とみなす。また、文書の電子化については、デジタル化推進計画に基づきながら、システムの標準化・共通化の時期に併せて、進めて欲しい。
------------------------------	--

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調査)

事務事業名	基金運用	担当部課名	会計室会計課
		作成者名	立山 由美
令和4年度予算時における指摘事項	<p>【現状と課題】 基金運用は定期預金。</p> <p>【改善ポイント】 基金運用は定期預金だけでなく、債券なども検討し、積極的な運用益の獲得を目指すよう改善の余地あり。</p>		
令和4年度事務事業評価結果	専門部会による2次評価結果(令和4年10~11月実施)		
	<input type="checkbox"/> 収支改善 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 調査継続 <input type="checkbox"/> 事業廃止		
	<p>【専門部会意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期的な基金運用を行った場合、歳計現金の不足時に市中銀行から一時借入することがあるものと考えられるが、期間内の運用収入と利息負担を比較した検討が必要。利息負担が高いのであればメリットは少ないのではないかと。 ・中期財政収支見通しや長期的な資金計画に基づき、5年、10年運用可能な資産額を決定するには会計課だけではなく、財政課や政策事業を取りまとめている企画課とも協議をする必要がある。 		
	<p>【取組到達とみなす指標】</p> <p>財政課や企画課と基金の将来的な運用について協議し、基金のうち長期運用が可能な金額を精査する。</p>		
	<p>行革推進委員会による外部評価意見(令和5年3月実施)</p> <p>安定した企業の債券でないとお手を出しづらいというのは理解できるが、なんとか運用を検討して欲しい。</p>		

■改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

進捗状況/今後の取組	<p>【進捗状況】財政課、企画課と協議を実施中のほか証券会社などからの情報収集を行っている。</p> <p>【今後の取組】既に債券を運用している他市からの聞きとり調査などを実施し、メリット、デメリットの整理や運用する際のルール作りについて検討を実施する。</p>
改善することによる財政効果	長期運用が可能な金額を精査できた場合、定期預金よりも有利な運用が可能となりうる。
調整上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ■基金の主な収入である「ふるさと納税」や、基金を活用した事業にかかる取り崩し額の、中・長期的な見通しが困難である。 ■債券の活用にあたり、ルール作りが必要となる。

■改善・見直し工程表(所管課記載)

取組内容	今後の改善に向けたスケジュール					
	令和5年度(予定)		令和6年度(予定)		令和7年度(予定)	
	4月~9月	10月~3月	4月~9月	10月~3月	4月~9月	10月~3月
・財政課・企画課との協議・調整	→		→			
・証券会社からの情報収集	→		→			
・他市からの情報収集	→		→			
・債券活用のルール作り検討	→		→			



■令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無



有

無

進捗確認評価結果(専門部会意見)	担当課において、現在、債券活用ルールを作成中。今年度中には策定できるため、たたき台により関係部署(財政課・企画課)と協議を実施し、基金のうち長期運用が可能な金額の精査を行い、債券購入する方向で検討していることを確認したため、取組到達とみなす。
------------------	---

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調査)

事務事業名	社会福祉関係団体育成事業費	担当部課名	保健福祉部福祉課
		作成者名	竹内 利樹
令和4年度予算時における指摘事項	<p>【現状と課題】 社会福祉協議会への事業に対する補助金について、『事業費補助』と『人件費補助』の考え方について整理されておらず、事業内容も例年と変更がないことから、近年予算額が据え置きとなっている。</p> <p>【改善ポイント】 『事業費補助』と『人件費補助』の考え方があいまいな積算であることから、今後も事業費補助として継続するのであれば積算の見直しを検討。(事務費補助の積算根拠を明確化する)</p>		
令和4年度事務事業評価結果	専門部会による2次評価結果(令和4年10~11月実施)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 収支改善 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 調査継続 <input type="checkbox"/> 事業廃止		
	<p>【専門部会意見】 社会福祉協議会への事務委託・補助する部内の所管課が連携し、事業費及び人工を積算して全体像を把握し、整理することが必要。</p>		
	<p>【取組到達とみなす指標】 事業費の積算根拠を明確にし、支出方法を見直して予算作成する。</p>		
	行革推進委員会による外部評価意見(令和5年3月実施)		
<p>社会福祉協議会の固有事務であれば、事業に対して補助金を出す考え方がいいと思います。また、他の自治体のやり方を参考にすることも必要だが、本市の考え方を決めた上で、必要だからこうするべきという姿勢で進めていただきたい。</p>			

■改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

進捗状況/今後の取組	福祉課において、近隣7市へ社会福祉協議会に対する補助・委託状況の調査を実施しており、その中で地域福祉実践計画推進事業費補助金が近隣と比較して補助金額が低いことが判明している。また、社会福祉協議会による近隣4市社会福祉協議会の嘱託及び臨時職員(事務職・技能職・専門職)の時間単価を調査したところ、恵庭市社会福祉協議会の時間単価が低いことが判明しており、近隣と同水準に引き上げて適正化を図りたいとの申し出があった。
改善することによる財政効果	恵庭市社会福祉協議会に対する補助金・委託料の適正化を図ることを優先する。
調整上の課題	各事業費における人工の取扱い等

■改善・見直し工程表(所管課記載)

今後の改善に向けたスケジュール						
取組内容	令和5年度(予定)		令和6年度(予定)		令和7年度(予定)	
	4月~9月	10月~3月	4月~9月	10月~3月	4月~9月	10月~3月
社会福祉協議会に対する補助金・委託料の見直し	近隣調査・社会福祉協議会及び庁内協議	次年度予算要求・予算成立				



■令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無 → 有 ・ (無)

進捗確認評価結果(専門部会意見)	次年度予算策定時までに、社協との協議を行い、支出方法を見直し予算策定することとしているため、今年度末をもって取組到達とみなす。
------------------	---

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調査)

Table with 2 columns: 事務事業名 (地域福祉事業費), 担当部課名 (保健福祉部介護福祉課), 作成者名 (松野 優一). Includes sections for 令和4年度予算時における指摘事項, 令和4年度事務事業評価結果 (専門部会による2次評価結果), and 令和5年度事務事業評価結果.

改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

Table with 2 columns: 進捗状況/今後の取組, 改善することによる財政効果, 調整上の課題. Content includes details about social welfare association cooperation and budget adjustments.

改善・見直し工程表(所管課記載)

Table showing improvement schedule (今後の改善に向けたスケジュール) with columns for fiscal years 5, 6, and 7, and sub-columns for 4 months and 10 months periods.



令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無 [有] ・ [無]

Table with 2 columns: 進捗確認評価結果(専門部会意見), 進捗確認評価結果. Content states that the next fiscal year budget will be revised based on the agreement with the association.

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調査)

事務事業名	老人憩の家運営事業費	担当部課名	保健福祉部介護福祉課
		作成者名	松野 優一
令和4年度予算時における指摘事項	<p>【現状と課題】 公共施設等総合管理計画で統廃合対象施設について施設の集約を進める。北海道内でも憩の家が恵庭のように7施設ある自治体はまれである。</p> <p>【改善ポイント】 老朽化が激しく、維持管理経費も増大傾向であることから、高齢者の生きがいづくりや、通いの場のサービスを維持しつつ、具体的な施設数の統廃合を検討。統廃合検討施設であれば、過大な修繕とならないように配慮が必要。</p>		
令和4年度事務事業評価結果	専門部会による2次評価結果(令和4年10～11月実施)		
	<input type="checkbox"/> 収支改善 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 調査継続 <input type="checkbox"/> 事業廃止		
	<p>【専門部会意見】 所管課において統廃合の年次計画や継続の方向性を検討し、管財・契約課と連携して、公共施設等総合管理計画の中で進行管理する。</p>		
	<p>【取組到達とみなす指標】 管財・契約課と連携し、所管課の検討結果について公共施設等総合管理計画の中で整理し、方向性を定める。</p>		
	<p>行革推進委員会による外部評価意見(令和5年3月実施)</p> <p>憩の家と会館では役割も異なり、憩の家の利用数も多いことから、効率化の観点のみから施設を統廃合するのは無理があるのではないか。</p>		

■改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

進捗状況/今後の取組	憩の家は高齢者の介護予防の拠点であり、本市介護認定率が道内市で最も低いことの要因とも考えられる。そのため、統廃合にあたっては、介護予防事業への影響も考慮しながら公共施設管理計画の中で進行管理している。なお、東恵庭憩の家はR5.3に廃止済、福住憩の家はR7.3に廃止予定で、柏陽憩の家も公民複合機能施設の整備にあわせR9.3の移転に向け検討中。
改善することによる財政効果	憩の家の管理にかかる費用の削減が見込める一方で、介護認定率の上昇による介護保険負担の増加が懸念される。
調整上の課題	市全体のまちづくり計画による複合施設の設置予定などを踏まえて、機能移転に必要なスペースの算定とそれを踏まえた移転候補先の検討及び課題の整理が必要である。憩の家は高齢者の通いの場として介護予防の拠点となっていることから、移転が困難な機能もある。

■改善・見直し工程表(所管課記載)

今後の改善に向けたスケジュール						
取組内容	令和5年度(予定)		令和6年度(予定)		令和7年度(予定)	
	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月
公共施設等総合管理計画における方向性記載	方向性の検討	方向性の検討	方向性の記載			



■令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無 有 無

進捗確認評価結果(専門部会意見)	担当課において、老人憩の家の統廃合に向けた検討は実施中(東恵庭は今年3月廃止済み、福住は令和7年3月廃止予定、柏陽は複合施設の整備に合わせ移転予定)。今後は、公共施設等総合管理計画に登載を予定し、関係課と連携しながら進めていくこととしているため、取組到達とみなす。
------------------	--

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調査)

事務事業名	高齢者健康増進事業費	担当部課名	介護福祉課
		作成者名	松野 優一
令和4年度予算時における指摘事項	<p>【現状と課題】 介護保険制度を利用しなかった健康な人を対象に2000円分の健康増進券を配布している。市内スポーツクラブや体育施設、温泉、タクシーなどの利用券となっている一方で健康増進を目的としないタクシー利用がある。高齢化や事業の認知度が高まっていることから、利用者数及び利用率が年々増加しており事業費が膨らんでいる。</p> <p>【改善ポイント】 健康増進券の利用を健康増進に直結するものに限定し、事業目的を達成しつつ効率的な運用の検討。</p>		
令和4年度事務事業評価結果	専門部会による2次評価結果(令和4年10~11月実施)		
	<input type="checkbox"/> 収支改善	<input type="checkbox"/> 規模縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 調査継続 <input type="checkbox"/> 事業廃止
	【専門部会意見】 後期高齢者の健康維持を図るため、外出機会を確保することが事業の目的であることから、タクシー利用による外出を促すことは適当と考える。		
	【取組到達とみなす指標】 今後実施するアンケート調査を分析し、使途等について検証する。		
	行革推進委員会による外部評価意見(令和5年3月実施)		
特になし			

■改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

進捗状況/今後の取組	調査によると高齢者の外出の減少、足腰の痛みによる外出控えが増加している。また、助成券の使途としては、タクシー・バスという交通機関が多く、体育施設は少ない。このことから、タクシー助成を通じた外出の機会確保・促進は事業目的に合致しその効果的な実施につながるかと考える。専門部会でも同様の見解を示され、外出支援を行う家族にとっても負担の軽減にもつながるといふ点からも同助成を継続し、今後も、アンケート調査等にもとづき利用先の検討を進めたい。
改善することによる財政効果	タクシーを対象外とすることで、外出機会が減るため、健康増進の機会減により要介護認定者が増えることになり財政効果の改善は図られない。
調整上の課題	タクシーは最も多い利用先で、専門部会を含め各方面からも外出機会の確保と外出意欲の促進において同利用には意義があると評価を得ている状況であるため、利用対象外とすることには相当の反対が寄せられると予想される。

■改善・見直し工程表(所管課記載)

今後の改善に向けたスケジュール						
取組内容	令和5年度(予定)		令和6年度(予定)		令和7年度(予定)	
	4月~9月	10月~3月	4月~9月	10月~3月	4月~9月	10月~3月
アンケート調査の分析	調査結果の分析					



■令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無 ➡ 有 ・ (無)

進捗確認評価結果	担当課においては、敬老祝金の対象者見直し(77歳を廃止)に伴い、健康増進事業の見直しを行うこととなった。今後は、担当課においてアンケート調査結果を分析し、検討を進めていくこととなっているため、取組到達とみなす。
----------	---

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調査)

Table with 2 main columns: 事務事業名 (Project Name) and 令和4年度予算時における指摘事項 (Remarks for FY2022 Budget). Includes details for '重度心身障がい児者通院外出支援サービス事業費' and evaluation results from the Special Committee.

改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

Table with 2 columns: 進捗状況/今後の取組 (Progress/Future Measures) and 改善することによる財政効果 (Fiscal Effect of Improvements). Details progress on taxi ticket support and future plans.

改善・見直し工程表(所管課記載)

Table showing the schedule for future improvements (今後の改善に向けたスケジュール) with columns for fiscal years 5, 6, and 7, and sub-columns for 4-9 months and 10-3 months.



令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無 有 ・ (無)

Table with 2 columns: 進捗確認評価結果(専門部会意見) (Progress Confirmation Evaluation Results) and 担当課において、対応可能な事業者があるかどうか現在も調査を続けているため... (In the charge department, since we are still investigating whether there are eligible providers...)

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調査)

Table with 2 columns: 事務事業名 (高校プール開放運営費), 担当部課名 (保健福祉部健康スポーツ課), 作成者名 (安達 智夫). Includes sections for 令和4年度予算時における指摘事項, 令和4年度事務事業評価結果 (専門部会による2次評価結果), and 令和5年度事務事業評価結果 (外部評価意見).

改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

Table with 2 columns: 進捗状況/今後の取組, 改善することによる財政効果, 調整上の課題. Contains text regarding pool usage, costs, and future plans.

改善・見直し工程表(所管課記載)

Table with 4 columns: 取組内容, 令和5年度(予定), 令和6年度(予定), 令和7年度(予定). Includes a timeline for pool-related activities from April to October.



令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無 有 ・ (無)

Table with 2 columns: 進捗確認評価結果(専門部会意見), 担当課において、市民の健康増進及びコストパフォーマンスの観点から、本事業の継続は必要であると判断。今後は、利用増進のため、市民周知を進めることとしていることから、取組到達とみなす。

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調査)

事務事業名	スポーツ施設管理費(パークゴルフ場)	担当部課名	保健福祉部健康スポーツ課			
		作成者名	安達 智夫			
令和4年度予算時における指摘事項	【現状と課題】 パークゴルフ場は基本的に利用者から利用料をとっているが、北栄コースなど一部料金負担を求めているコースがある。(施設管理者が常駐していないことが理由)					
	【改善ポイント】 北栄コースなども利用者は相当数いることや、サービスの質や維持費など他のコースとなら変わらないことから、施設管理者が常駐していても事前申請で対応するなど、料金負担の検討、または維持管理費を有料施設よりも抑制するなど差別化を検討。					
令和4年度事務事業評価結果	専門部会による2次評価結果(令和4年10～11月実施)					
	<input type="checkbox"/> 収支改善 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 調査継続 <input type="checkbox"/> 事業廃止					
	【専門部会意見】					
	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者負担の原則から有料化について検討すべき。 ・有料化に必要な経費の積算や利用料見積りなど、比較検討に必要な情報を整える。 ・スポーツ振興まちづくり審議会での議論を経て、令和6年度政策予算要求までに、有料化の可否の方向性をまとめること。 					
	【取組到達とみなす指標】 有料化の可否を判断する。					
令和4年度事務事業評価結果	行革推進委員会による外部評価意見(令和5年3月実施)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・無料コース(漁川アイリスコース・島松・北栄会館)のうち、島松パークゴルフ場については整備して有料化した方がいいのではないか。その他の無料コースについては、市民が楽しむ場所として今のまま無料開放してもいいのではないか。 ・有料コースと無料コースのすみ分けは必要。日常的に使う無料コース、大会などに利用する有料コース。無料コースにおいては事故がないよう指定管理のあり方については検討する必要がある。 ・無料であっても快適に利用できる環境であってほしい。 					

■改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

進捗状況/今後の取組	令和5年度に入りコロナの状況が多少落ち着く中で、パークゴルフ場の利用者もようやく以前の状況に戻つつある。そのような中、現在、市内のパークゴルフ場の規模縮小や、民間のパークゴルフ場の閉鎖など新たな動きが生じてきた。現在、その推移を見守っているところであるが、今後、これらの動きが市が運営しているパークゴルフ場の利用状況にも変化をもたらす可能性があること、また、千歳市との施設の相互利用の可能性として、パークゴルフ場の活用も視野に入れていることから、現在無料化しているパークゴルフ場も含め、今後、指定管理者の更新時及び次期指定期間中に無料パークゴルフ場の有料化について新たに提案を受けるなど、有料化について、さらに時間をかけて検討する必要がある。
改善することによる財政効果	有料化することで一定の収入は見込めるが、指定管理者への収入となり市への直接的な財政効果として示すことが難しい。
調整上の課題	無料パークゴルフ場の有料化に伴う利用者からの理解を得ることが課題。また、無料コースを有料化した場合の人員配置の問題及びコース仕様の変更に伴う指定管理料の調整。

■改善・見直し工程表(所管課記載)

今後の改善に向けたスケジュール						
取組内容	令和5年度(予定)		令和6年度(予定)		令和7年度(予定)	
	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月
有料化へ向けた市場調査	市場調査	市場調査	市場調査	市場調査	市場調査	市場調査
有料化へ向けた調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究



■令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無



有 ・ 無

進捗確認 評価結果 (専門部会 意見)	担当課において近隣市町村の状況を調査し、情報収集しているところ。現在、市内のパークゴルフ場の規模縮小や民間のパークゴルフ場の閉鎖などの動きが出てきていることから、有料化の可否の方向性については今のところ未定。取組到達となる時期や方向性が見えてくるまで、専門部会において進捗確認を行う。
------------------------------	--

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調査)

Table with 2 main columns: 事務事業名 (スケート場維持管理費) and 担当者名 (保健福祉部健康スポーツ課). Includes a detailed section for 令和4年度予算時における指摘事項 with sub-sections for 現状と課題 and 改善ポイント. Also includes a section for 令和4年度事務事業評価結果 with sub-sections for 専門部会による2次評価結果, 専門部会意見, 取組到達とみなす指標, and 行革推進委員会による外部評価意見.

改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

Table with 2 columns: 進捗状況/今後の取組 and 改善することによる財政効果. Includes a section for 調整上の課題.

改善・見直し工程表(所管課記載)

Table with 4 columns: 取組内容, 令和5年度(予定), 令和6年度(予定), 令和7年度(予定). Includes a sub-section for 今後の改善に向けたスケジュール.



令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無 (有) ・ 無

Table with 2 columns: 進捗確認評価結果(専門部会意見) and 今年度においては、市民スケート場のサウンディング調査の実施の実施予定なし。サウンディング調査を実施するか否かも含め、方向性が明確になるまでは、専門部会において進捗確認を行う。

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調書)

Table with 2 columns: 事務事業名 (勤労者関係費) and 担当者 (経済部商工労働課). Includes sections for 令和4年度予算時における指摘事項, 令和4年度事務事業評価結果 (専門部会による2次評価結果), and 令和5年度事務事業評価結果 (外部評価意見).

改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

Table with 2 columns: 進捗状況/今後の取組 and 内容. Details the start of coordination for the Silver Human Resource Center and the development of a policy budget request.

改善・見直し工程表(所管課記載)

Timeline table for improvement schedule. Columns: 取組内容, 令和5年度(予定), 令和6年度(予定), 令和7年度(予定). Rows include '作成要綱のシルバー人材センター補助金交付' and '交付のシルバー人材センター補助金'.



令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無 有 ・ 無

Table with 2 columns: 進捗確認評価結果(専門部会意見) and 内容. States that the need for progress management is '有' (Yes) and provides reasons related to coordination with the Silver Human Resource Center.

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調書)

Table with columns for '事務事業名' (Job Creation Promotion Project), '担当部課名' (Economic Department, Labor and Industrial Affairs Section), and '作成者名' (Shinichi Sakamoto). It includes evaluation results from the Special Committee and external evaluations.

改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

Table detailing progress and future actions. It covers '進捗状況/今後の取組' (Progress/Future Actions), '改善することによる財政効果' (Fiscal effects of improvements), and '調整上の課題' (Adjustment issues).

改善・見直し工程表(所管課記載)

Timeline table for improvement actions from Heisei 5 (2023) to Heisei 7 (2025), detailing activities like recruitment and surveys.



令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無 有 ・ 無

Table for '進捗確認評価結果(専門部会意見)' (Progress Confirmation Evaluation Results (Special Committee Comments)), noting that the project will continue to be reviewed for improvement.

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調査)

Table with 2 columns: 事務事業名 (台湾経済交流推進事業費), 担当部課名 (経済部商工労働課), 作成者名 (主査 新藤 直貴). Includes evaluation details for FY2022 and FY2023, and a progress schedule table.

改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

Table with 2 columns: 進捗状況/今後の取組, 改善することによる財政効果, 調整上の課題. Details progress and financial impact of improvements.

改善・見直し工程表(所管課記載)

Table with 4 columns: 取組内容, 令和5年度(予定), 令和6年度(予定), 令和7年度(予定). Shows improvement schedule for FY2023-2025.



令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無 (有) ・ 無

Table with 2 columns: 進捗確認評価結果(専門部会意見), 担当課において、今後の方針について6月に決定済み(訪日教育旅行の受入れを中心に事業展開)としているが、これまでの事業の効果検証が必要。今後の台湾事業の検証結果と今後の方向性について、今後も専門部会において進捗確認を行う。

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調書)

Table with columns for '事務事業名' (観光推進事業費), '担当部課名' (経済部花と緑・観光課), and '作成者名' (谷口 寛典). It includes evaluation details for FY2022, a table for '令和4年度事務事業評価結果' (Special Committee and External Committee), and a '調整上の課題' (Issues for Adjustment) section.

改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

Table detailing progress and future actions. It covers '進捗状況/今後の取組' (Progress/Future Actions) with income and expense details, '改善することによる財政効果' (Fiscal Effect of Improvements), and '調整上の課題' (Issues for Adjustment).

改善・見直し工程表(所管課記載)

Timeline table for '今後の改善に向けたスケジュール' (Future Improvement Schedule) from FY25 to FY27. It details tasks like '観光案内所業務等実績集計' and '財源確保に向けた取組み' with specific monthly milestones.



■令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無  (有) ・ 無

<p>進捗確認 評価結果 (専門部会 意見)</p>	<p>担当課において、今年度においては、観光協会への来客数(窓口対応、電話対応等)の件数を把握し、委託費に見合った状況となっているか、現状把握することとしている。また、推進委員会の意見を受け、まずは担当課においてDMOについて調査研究を継続していくこととしている。また、観光協会の主催事業を増やすことにより、委託事業の中身がわかりやすいよう到来年度予算のあり方を見直す予定。利用者アンケートは今年度未実施。 観光協会の効果について見える形になっていないため、担当課の取組状況を次年度以降も確認することが必要と判断し、進捗管理を継続する。</p>
--	--

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調査)

Table with 2 columns: 事務事業名 (青少年宿泊研修施設管理運営費), 担当部課名 (教育部社会教育課), 作成者名 (津田 紗希子). Includes sections for 令和4年度予算時における指摘事項, 令和4年度事務事業評価結果 (専門部会による2次評価結果, 収支改善, 規模縮小, 調査継続, 事業廃止, 専門部会意見, 取組到達とみなす指標, 行革推進委員会による外部評価意見).

改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

Table with 2 columns: 進捗状況/今後の取組 (進捗状況, 今後の取組), 改善することによる財政効果, 調整上の課題. Includes details on budget items, facility improvements, and user growth targets.

改善・見直し工程表(所管課記載)

Table with 4 columns: 取組内容, 令和5年度(予定) (4月~9月, 10月~3月), 令和6年度(予定) (4月~9月, 10月~3月), 令和7年度(予定) (4月~9月, 10月~3月). Lists activities like PR and SNS for user growth.



令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無 有 ・ 無

Table with 2 columns: 進捗確認評価結果(専門部会意見), 担当課において、昨年度中に恵庭RBP(株)と協議を進め、取扱要領の改正を行った。今後も引き続き施設利用に関するPRを実施し、更なる利用者拡大をはかることとしていることから、取組到達とみなす。

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調査)

Table with 2 main columns: 事務事業名 (墓園管理費) and 令和4年度予算時における指摘事項. Includes sub-tables for 令和4年度事務事業評価結果 (専門部会による2次評価結果, 令和4年度事務事業評価結果) and 令和5年度事務事業評価結果 (外部評価意見).

改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

Table with 2 columns: 進捗状況/今後の取組, 改善することによる財政効果, 調整上の課題. Content includes survey results and management plans for the cemetery.

改善・見直し工程表(所管課記載)

Table showing the schedule for improvement measures from Heisei 25 (2013) to Heisei 27 (2015). Columns include 取組内容 and specific time periods (4月~9月, 10月~3月).



令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無 有 ・ (無)

Table with 2 columns: 進捗確認評価結果(専門部会意見), 3月に実施したアンケート調査結果を踏まえて、今後の墓所需要を勘案したところ、新たな墓所整備は行わない方針を決定し、6月の常任委員会において報告済み。そのため、取組到達とみなす。

改善を要する事業に係る工程表
(令和4年度事務事業評価結果に基づく見直し調査)

事務事業名	スポーツ振興基金運用事業費	担当部課名	保健福祉部健康スポーツ課
		作成者名	安達 智夫
令和4年度予算時における指摘事項	<p>【現状と課題】 教育総務課の中体連助成金とのすみ分けがなく、中体連助成金と全国大会等派遣補助金が重複して申請できる状態となっている。</p> <p>【改善ポイント】 予算の効率的執行の視点から補助要綱の見直しが必要。</p>		
令和4年度自己評価	上記改善意見に対する所管課意見(令和4年5月実施)		
	<p>【指摘事項に対する所管課意見】 これらの補助金については重複申請がないよう、細心の注意を図りながら事務処理を進めているが、申請者にとって分かりづらい仕組みとなっており、また、同一事業を2つの要綱・要領で管理することは運用上好ましくないことから、新たな仕組みづくりが必要であると考えます。</p> <p>【今後の改善方策】 中体連助成金の主管課である教育総務課と、これまでの補助事業について精査・検証を行いながら、補助金の申請・交付業務の一本化を行うための仕組みづくりを構築し、あわせて補助要綱の見直しを行う。</p>		

■改善・見直しに向けた進捗状況と今後の取り組みについて(所管課記載)

進捗状況/今後の取組	中体連の助成に関する要綱(教育総務課所管)及び管内・全道・全国大会出場に関する助成(健康スポーツ課所管)の両要綱について内容を精査中。今後は教育委員会と重複しそうな項目について協議を行い、健康スポーツ課所管の要綱の見直しを行う。
改善することによる財政効果	重複の要素が解消し、二重交付のリスクがなくなる。
調整上の課題	申請の状況など両課において常に情報を共有し、連携を取ることが必要。

■改善・見直し工程表(所管課記載)

今後の改善に向けたスケジュール						
取組内容	令和5年度(予定)		令和6年度(予定)		令和7年度(予定)	
	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月
要綱の見直し	・両要綱の精査 ・教育委員会との協議	・要綱の見直し				



■令和5(2023)年度 専門部会評価(専門部会記載)

次年度以降、専門部会で進捗管理の必要性の有無 ➡ 有 ・ (無)

進捗確認評価結果(専門部会意見)	担当課において、今年度中に中体連の助成を行う教育総務課と協議をして、補助要綱を見直すこととしている。そのため、取組到達とみなす。
------------------	--